

# 遺伝子組み換えナタネ自生調査運動 20 周年記念集会

## 市民の手で明らかになった遺伝子汚染

GMナタネ自生調査活動が20周年を迎えました。市民による全国規模の科学的調査として、毎年その実態を確認してきました。同様の調査を行なう農水省・環境省とも情報を共有してきました。集会では20年の活動を振り返るとともに、ハワイ大学教授の木村あやさんに市民科学の意義と可能性についてお話しいただきます。木村あやさんはこの調査活動を、シチズン・サイエンス（市民科学）のきわめてまれな成功例として高く評価され、実際に全国報告会にも参加されています。

20年間の調査で、遺伝子汚染の深刻さが浮き彫りになりました。ナタネ陸揚げ港周辺だけでなく住宅地にもGMナタネが自生し、除草剤ラウンドアップとバスタの両耐性や雑草との交雑種を確認し、1次検査では発覚しない「隠れGMナタネ」の存在も明らかになり、さらに引き抜き活動などで汚染の拡大を防いできました。

今年も、遺伝子汚染から生物多様性を守り、食の安全を守ろうと各地で調査活動が行われました。集会当日には各団体から調査結果が報告されます。ぜひ、ご参加ください。

日時：2024年7月30日(火) 13:30~16:30

会場：連合会館 402号会議室／オンライン併用

(JR御茶ノ水駅聖橋口5分、地下鉄新御茶ノ水駅B3出口すぐ)

定員：会場参加60名、オンライン500名

参加費：500円

申込み：右のQRコード、キャンペーンのHP、メール、FAXにて



### プログラム

講演「市民科学としてのナタネ自生調査」

木村あやさん（ハワイ大学教授）

対談「GMナタネ自生調査20年から見えてきたもの」

河田昌東さんと天笠啓祐さん

GMナタネ自生調査報告 各団体から

韓国のGMナタネ自生調査（予定）



**木村あや** ハワイ大学教授。テクノサイエンス、持続可能性、社会正義の交差点を研究。日本語共著に『コモンの「自治」論』、『福島原発事故被災者 苦難と希望の人類学』などがある。

※GMナタネ自生調査20周年記念報告集の発行、集会開催及び今後の運動のために賛同金を募集いたします。ご協力をお願いします。（団体1口10000円、個人1口1000円。1口以上）。

賛同団体・個人のお名前を当日配布資料に掲載します（希望される団体・個人のみ）。

主催：遺伝子組み換え食品いらない！キャンペーン

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 1-9-19-207

TEL：03-5155-4756 FAX：03-5155-4767 メール：office@gmo-iranai.org